

《報 告》

# 看護技術育成の向上を目指した基礎看護学演習の試み ～模擬患者に教員を導入して～

社本 生衣

椋山女学園大学看護学部看護学科

## 要 旨

本研究は、教員が模擬患者となり学生の看護技術演習に参加した結果、その後の看護技術トレーニングにどんな影響を及ぼしたか、また技術習得状況にどのような変化があったかを明らかにすることを目的に行った。

学生が患者や看護師の役割分担をしてのトレーニングと教員が模擬患者となりトレーニングに参加する2つの方法で全身清拭のトレーニングを実施した。看護技術評価は、精神運動領域と情意領域について技術チェック表を用いて行った。また、教員が感じたままを学生に提示しフィードバックした。

結果、模擬患者役が教員となったことで対象への配慮や関心が高まり、教員が感じたまま伝えフィードバックを行うことは学生が自分の実施した技術を内省し行動の変化を促すことに繋がると示唆された。

キーワード：教員    模擬患者    看護技術トレーニング